

県政への反映状況（令和6年度「県政への提言」）

<令和6年度に取り組んだもの及び令和7年度の実施状況>

● 岡山桃太郎空港の設備改善について

岡山桃太郎空港について、荷物受取所の男子トイレの台数が少なく、行列ができている。また、早朝便の保安検査では20分以上待つのが普通で、始発の羽田便はほぼ定刻に出発せず遅延が常態化しているため、設備改善を求めたい。

⇒ 将来のインバウンド需要等に備えるとともに、利用者の利便性・快適性の向上を目指し、空港の機能強化を図るため、令和7年度に旅客ターミナルビル等の基本計画を策定することとしております。

また、保安検査場の混雑解消に向け、航空会社等と連携し、スムーズな検査のためのポイントをまとめたスライドを作成し、令和7年2月から保安検査場にデジタルサイネージを設置しました。

（航空企画推進課）

● 強盗対策用防犯カメラ設置に対する補助について

強盗被害の抑止対策として、65歳以上の家庭に防犯カメラを設置する際の補助制度を設けてほしい。

⇒ 令和7年度から、物価高騰の影響を受けた住民団体の支援や地域の防犯力強化のため、住民団体が設置する新たな防犯カメラの購入や設置工事等に対し、補助を行う市町村を支援する事業を実施しております。

（くらし安全安心課）

● 大学との連携事業について

新聞で大学との連携事業検討という記事を見たが、良い事業だと思った。大学や市町村任せにせず、県が事業の組み立てにも参加して進めてほしい。

⇒ 令和7年度から、「行政の諸課題解決のための大学生による多角的アプローチ事業」を開始しており、事業の実施に当たっては、大学コンソーシアム岡山をはじめ、関係者と連携しながらしっかりと取り組んでまいります。

（県民生活課）

● 医療費補助の更新に係る書類について

肝炎治療特別促進事業の医療費補助を受けているが、毎年、肝炎治療受給者証の更新時に提出が求められる住民票や課税証明書、加入保険情報は、いずれもマイナンバーで確認できる情報であるため、これらの書類提出が省略できるよう、マイナンバーを活用した情報確認制度の導入を進めてほしい。

⇒ マイナンバーの提出により書類の一部を省略することは、申請者の負担軽減と手続きの効率化の両面で意義が大きいものと認識しており、現在、当該事業についてマイナンバー利用事務の導入に向けて、システム整備などの準備を進めているところです。

引き続き、他県の先行事例も参考にしながら、制度の円滑な導入と申請者のさらなる利便性向上に努めてまいります。

(疾病感染症対策課)

● 少子化対策について

少子化対策を議論するためにも、子どもの目線に立ったアンケートを実施してはどうか。

⇒ こども基本法に基づき子ども等の意見を募集し施策に反映させるため、令和6年11月、意見募集プラットフォームである「ももっこの“声”」を県ホームページに開設しました。

また、子どもが意見を表明する機会を増やし、各種の子ども関連施策の参考とするため、令和7年8月、「いつでも意見投稿フォーム」も設置しました。

(子ども未来課)

● 県道113号線入口への大型車両通行不能等の表示について

蒜山・新庄村周辺の道路について、通行止めの箇所が複数ある。また、蒜山インター出口から県道58号への交差点が変則交差点で、県道58号のほか県道113号も分岐しており、初めての運転では間違える可能性もある。この県道113号入口は、この先大型車通行不能の表示はないようなので、県外者にも分かるような表示がほしい。

⇒ ご意見をいただいた箇所については、令和7年3月に案内標識を1基、令和7年7月に注意看板を2基設置し、改善を行いました。

(道路整備課)

● 経年劣化している道路案内標識について

道路案内標識が色褪せて見えにくくなっていたり、文字が昼間は読めても、夜間はヘッドライトで反射せず、読み取りにくくなっていたりする道路案内標識が、非常に多くなっている。例えば、倉敷市八王子町の県道倉敷笠岡線が折れる交差点に設けられている、門型標識柱に設置されている道路案内標識は、上下線共に色褪せが進んでいる。特に県外から人が訪れる場所の周辺やその経路上にある道路案内標識については、放置せず早急に対処すべきだ。

⇒ ご意見をいただいた交差点の案内標識については、令和7年2月に上下線共に標識の改善を行いました。

(道路整備課)

● 県議会のインターネット中継の画質について

県議会のインターネット中継の画質が粗く、シルエットもわかりにくいいため、改善してほしい。

⇒ 令和7年5月臨時会から、画質の向上を行いました。引き続き、議会広報の拡充に努めてまいります。

(議会事務局)

● 高校生の進路指導・職業教育について

高校生の進路指導は一人一社制を維持しているが、企業側の競争原理を働かせるため、やめるべきだ。また、実学系の高校生が会社をよく知り、その会社に勤めている人をよく知ることができる機会を設けてほしい。

⇒ 令和7年3月に実施した岡山県高等学校就職問題検討会議において、令和7年度は一人一社制を維持することとしましたが（11月以降は複数応募可能）、今後も関係者の意見等も踏まえながら、引き続き毎年度実施している同会議において検討することとしております。

また、令和7年度から県教委にコーディネーターを配置し、学校と地元産業界等との連携をサポートすることで、高校生が地元企業等をよく知る機会を設ける取り組みを実施しております。

(教育委員会)

<令和5年度以前の提言で令和6年度に取り組んだもの及び令和7年度の実施状況>

● 芸備線の存続について

芸備線について、災害時の国家安全保障戦略として存続を主張し、安全保障の予算からサポートしてはどうか。

⇒ 芸備線については、令和6年3月に設置された芸備線再構築協議会において、利用者の利便性や地域への波及効果など芸備線自体の価値を追求するため、芸備線やその沿線の現況を把握する調査を行うなど、より利便性の高い公共交通の実現に向けた最適な交通手段の在り方について検討しているところですが、令和7年度から芸備線の増便やダイヤ修正を行うとともに、7月19日から11月24日の土・日・祝日において、二次交通の拡充等の実証事業を実施しております。

(交通政策課)

● マダコの資源管理について

マダコについて、今後は遊漁と漁業の住み分けを図る方針とのことだが、一部にだけ利益が出るような中途半端な施策でなく、誰から見ても公平な内容としてほしい。

⇒ 令和5、6年度に「岡山県海面におけるマダコ遊漁実態調査」を実施し、遊漁の状況把握を行いました。本調査で得られた結果を精査し、漁業と遊漁の共存に向けた検討を進めることとしております。

(水産課)

● 収入証紙廃止後の手数料の納付方法について

収入証紙廃止後の手数料の納付方法について、開庁時間外にも納付可能な仕組みを構築すべきである。

⇒ 手数料の支払方法については、各手続担当課が電子申請サービスによるオンライン納付や収納専用窓口のPOSレジでの納付など、各手続に応じた方法を採用しておりますが、令和7年1月から、4連納付書を利用したコンビニ納付を開始し、利便性の向上を図っているところです。なお、選択いただける支払方法は申請手続きによって異なります。

（会計課）